

バベルの塔展

説明資料



①絵を描いた人

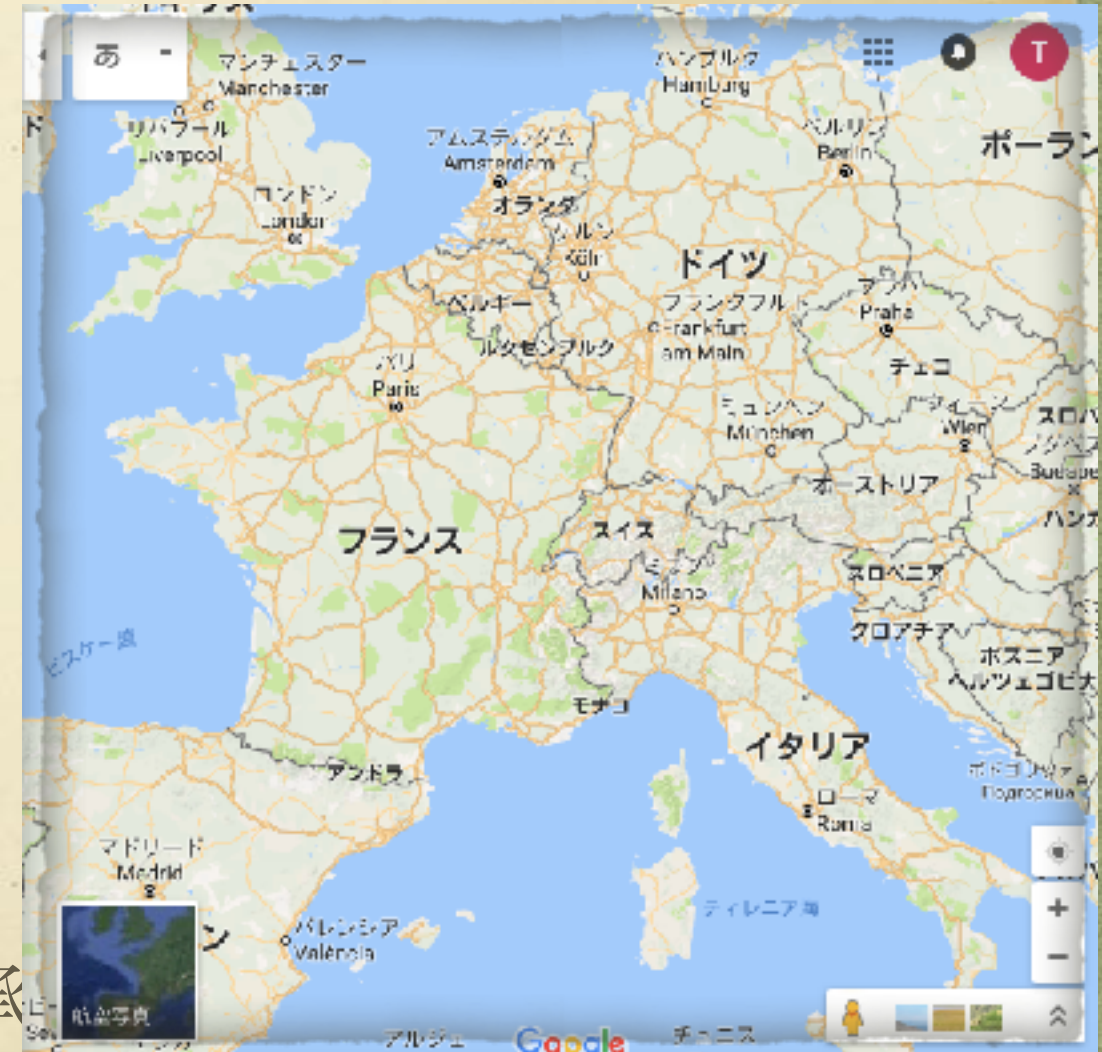
- ピーテル・ブリューゲル 1 世(1526/1530頃-1569)
- ・メイン展示の『バベルの塔』を描いた、16世紀ネーデルラントを代表する巨匠
- ・農民たちの生活を描いた絵画で有名。代表作『子供の遊戯』は80種類もの遊びが細かく書き込まれている
- ・長男のピーテル・ブリューゲル 2 世は「地獄のブリューゲル」、次男のヤン・ブリューゲルは「花のブリューゲル」と呼ばれている

①絵を描いた人

- ヒエロニムス・ボス (1450頃-1516)
- ・ 15世紀ネーデルラントが生んだ奇才
- ・ 幻想的で怪異な作風が特徴
- ・ ブリューゲルなど後世のフランドル画家に多大な影響を与えた

②ネーデルラントとは？

- ・「低い土地」という意味
- ・今のオランダ、ベルギー周辺
- ・14世紀～15世紀後半
- ヴァロワ＝ブルゴーニュ公国領
- ・15世紀後半～
- 政略結婚によりハプスブルク家が継承
- ・1648年ウェストファリア条約により独立
- ・17世紀 貿易による経済発展でオランダ黄金時代を迎える



③ネーデルラント芸術

- ヒエロニムス・ボスが生きていた15世紀はルネサンスの時代。イタリアが芸術の中心。ネーデルラントは辺境だが、ファン・エイク(1395-1441)などイタリア人が驚くほど凄い画家がいた。(初期フランドル派)
- ボス、ブリューゲルも初期フランドル派に含まれるが、ボスはその画風により「異端」と評される。



ファン・エイク『アルノルフィーニ夫妻像』

③ネーデルラント芸術

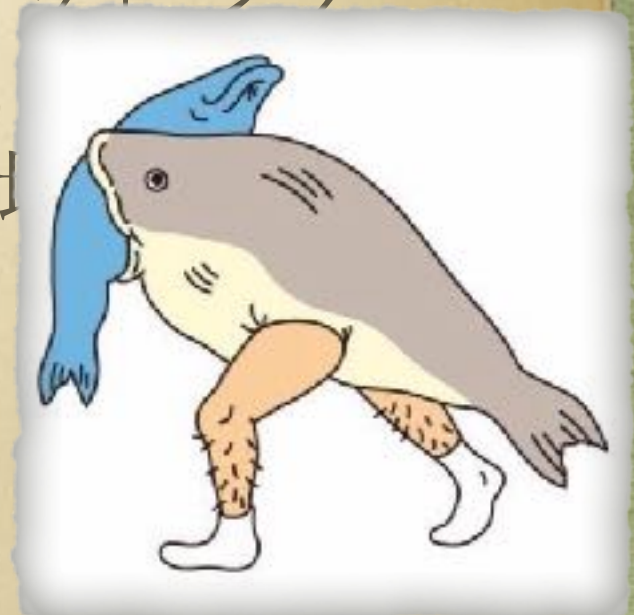
- 16世紀のバロック期には他国の宮廷で活躍する画家が登場。ルーベンス(1577-1640)、ヴァン・ダイク(1599-1641) など。
- 17世紀になると貿易の発展により宮廷ではなく商人が注文者となり、風俗画が発展。フェルメール(1632-1675) など。



フェルメール『真珠の首飾りの少女』

④バベルの塔展の見どころ

- ・ 24年ぶりに来日した『バベルの塔』の緻密な描写
- ・ フランドル派の宗教画、風景画、肖像画
- ・ ボスの絵に出てくる妖怪的キャラクター
- ・ 藝大で同時開催中のプロジェクト・マッピング
- ・ 表参道でやってるヒグチユウコのバベルの塔
- ・ 大友克洋が描いた「Inside Babel」画
- ・ 森川智之の音声ガイド など



♪ ご静聴ありがとうございました

